

# 黒島地区まちづくり協議会 平成20年度先進地視察報告書

協議会名	黒島地区まちづくり協議会
視察目的	能登半島地震により大きな被害を受けた黒島地区が「震災からの復興」と「伝統的建造物群保存地区指定による町並みの保全」の二本柱のまちづくりを進めるにあたり、歴史的町並みを活かしたまちづくりを進めている地域や伝統的建造物群保存地区に指定されている先進地を視察し、今後のまちづくりの参考とします。
期間	平成20年9月27日(土)
視察場所	富山市東岩瀬、高岡市山町筋伝建地区
参加人数	17名

## 視察行程と研修内容

行程	視察箇所	研修内容
9月27日(土)	富山市・東岩瀬視察	富山市都市計画課の佐藤英子氏より、これまでの東岩瀬のまちづくりの経緯、これまでの景観整備の内容、住宅の修理修景実績の説明を受けた。 また重要文化財森家を見学し、今後の角海家の活用方法の参考とした。 東岩瀬ではLRTの開業に合わせて行政主導の景観整備、まちづくりがスタートしたが現在では、地元でまちづくり会社が組織されるなど、活発なまちづくり活動が実践されている。
	高岡市・山町筋伝建地区	土蔵造りのある山町筋まちづくり協議会の若森幹事、筏井事務局長にこれまでのまちづくりの経緯、これまでの景観整備の内容、住宅の修理修景実績の説明を受けた。 また、重要文化財菅野家、土蔵造りのまち資料館を視察し、今後の角海家の活用方法の参考とした。 東岩瀬と同様に伝建調査は行政主導で実施されたが、伝建地区指定の受け皿として地元協議会が組織され、現在はかなり活発にまちづくり活動を実施している。
	高岡市・伏木	時間の関係で視察中止

<p>視察成果 (調査結果)</p>	<p>&lt;東岩瀬&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東岩瀬のまちづくり経緯と実績を把握できた。(別添資料)</li> <li>・LRTの開業(H18.4)に合わせて行政がかなり強力でプッシュしたこともあり、地区の4割の住宅の修理修景が実施され、また無電柱化により景観整備がかなりの実績を上げている。</li> </ul>
	<p>&lt;山町筋&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山町筋のまちづくり経緯と実績を把握できた。(別添資料)</li> <li>・修理修景対象の5割強が事業を追い、町並みが向上している。またこれから無電柱化がスタートする。</li> <li>・黒島ほど深刻ではないが高齢化が進んでおり、今後10年の間に空き家になりうる伝統的建造物も少なくはない。</li> <li>・資料館の指定管理者を協議会でやりたいと考えているが、受け入れ態勢が整っておらず、当面の課題である。</li> </ul> <p>&lt;東岩瀬&gt;</p>   <p>&lt;山町筋&gt;</p>  
<p>今後の視察成果活用について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の視察結果は、まちづくり新聞としてまとめて地元で報告する。</li> <li>・東岩瀬、山町筋ともに、まち歩きを楽しめる景観整備、実際に見学できる公開民家、防災や住環境の向上を意図した公共施設整備がされており、この3点は今後のまちづくりの中で参考とする。</li> <li>・特に公開民家では、駐在員を置き、一通りの説明をすることで、地元と観光客の間に交流が生まれており、これは今後の角海家の活動計画の中でも取り入れるべき事項である。</li> </ul>